

被害にあった人の絵や写真。それは、まるで
今いるはずのない被爆者の声をきいているか
のようでした。また被害にあった人々の話を
聞くと、まるで生き地獄のような光景の前に
立ちすくむような感覚になりました。

『しつかり見なくては・・・。聞かなく
ては・・・。』と思いつながら正直に言え
ば、私には受けとめきれない現実に目をそむ
けたくなったのです。

私は、1945年8月6日8時15分にあ
った出来事を知り、人類はまだ本当に核兵器
を使う気にいるのだろうか。本当に世界は戦
争の残酷さを知っているのだろうか。知って
いるのならなぜ原爆をまだ持っているのか、
私は知りたいです。世界はなぜ簡単なこと一
つ分からないのですか。

私は、広島に行き様々なことを学びました
それは被害にあった広島の人々にとって理不
尽な事の数々でした。今は他人事ですがいつ
か自分にもおこりえることかもしれません。

そのような事が二度とおこらないような世界
は、私達でつくれるはずですよ。知らないで済
ませてはいけないことが戦争のことだと思
いました。